

## む す び

昔の「ならやま」は、綺麗(きれい)に手入れされた緑豊かな丘陵でした。谷筋を蒸気機関車D 5 1が、煙を吐きながらシュッポシュッポと走っていました。ならやま大通りや24号バイパスはありません。のどかな環境に多くの動植物が生息していました。その恵みを四季折々に授かりながら、私たちは生活していたのです。

「雑草という名の植物はない」。植物学の父、牧野富太郎博士の言葉です。あふれるほどの自然には全て名前があり、生命(いのち)があることを教わりましたね。それぞれが精一杯生きているのです。身近なものでも、うっかり見過ごしていませんか。見ようという気持ちがないと何も見えてきませんよ。自然を大切にすることは、皆さんがどれだけ自然に眼差(まなざ)しを注ぐかということです。

「見つけよう自然のなかま—ならやまの昆虫と植物たち—」のなかで、皆さんは何種類の自然のなかまと出あえましたか。出あいの感動をお家の人やお友達とたくさん話してくださいね。

保護者の皆様、ご存知のように周辺の土地は新しい住宅地として開発されました。幸い「ならやま」の一带は古都保存法で開発からまぬがれ、特別史跡「平城宮跡歴史的風土保存地区」に指定されました。この自然環境に恵まれた景観を守り、次世代に引き継ぐことが、私たちの最大の使命と考えています。

表紙は、奈良市立佐保台小学校の児童と会員のお孫さんたちに応募してもらった97点から審査の結果、最優秀賞に選ばれた中川美登里さんの作品を採用しました。

この本は長年、ならやまの動植物の調査にあたった会員の努力の結晶です。会員の西谷範子さんから植物編で一部の写真提供を受け、レイアウトに創意工夫をしてもらうなど関係各位のお力添えに心から感謝申し上げます。

特に本書の発刊は、トヨタ自動車株式会社の「トヨタ環境活動助成プログラム」のご支援により、実現することができたものであります。

編集委員会 委員長 鈴木末一  
委員 青木幸子 阿部和生 岡田安弘 菊川年明 木村 裕 辻本信一  
徳地恵男 西谷範子 平岡久美 古川祐司 吉川利文  
(五十音順)

### 見つけよう自然のなかま —ならやまの昆虫と植物たち—

平成31年 月 日 印刷  
平成31年 月 日 発行

発行 奈良・人と自然の会  
印刷 冊子印刷ドットコム

本図録は正確な記述を心がけて作成しましたが、見解・学説などについては、異論もあることをご了承ください。本文中の漢字表記については、多くの読者が学童であることを想定し、小学校教育漢字を中心に記載しました。各ページの文章、写真などの無断転載を禁じます。



**トヨタ環境活動助成プログラム**  
TOYOTA Environmental Activities Grant Program

奈良・人と自然の会